

発掘成果をふりかえって 1993

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 慈照寺(銀閣寺)左京区銀閣寺町

寺域の北方で発見された東山殿創建当時(15世紀末)の石垣と溝。慈照寺は足利義政創建の東山殿の後身(西から)。

いよいよ建都1200年を迎え、また、来世紀を間近にひかえた京都は新たな出発点に立ったといえます。

こうしたなかで1993年にも京都市内では平安京をはじめとして、多くの遺跡を調査し、各時期のさまざまな遺構や遺物を発見しました。それらの資料は膨大な量におよび、まさに1200年の都としての重みを感じさせます。

今回ここに紹介できたのは、こうした成果の一部ですが、いずれも京都という都市ではなく、日本の歴史にそのまま係るような発見です。みなさんもその一端にふれてみてください。そして、今後の調査にも御期待ください。



2 水垂遺跡 伏見区淀水垂町・桶爪町

河川に囲まれた集落跡。塼穴住居や掘立柱建物が河川のごく近くまでつくられている(北から)。



3 平安京左京四条一坊 中京区壬生朱雀町（朱雀第一小学校）

平安時代前期の圃池。汀には小石を敷いた洲浜がつくられている。写真右奥の建物の位置が朱雀大路にあたる（東から）。



4 安祥寺下寺跡 山科区安楽中小路町

JR山科駅前で平安時代前期の木炭木樁墓を発見した（西から）。



5 平安京左京四条四坊 中京区高倉通六角下る和久屋町（高倉小学校）

グラウンドの下から室町時代の下京の町並を発見した。たくさんの柱穴から建物が建ち並んでいたのがわかる（北から）。



6 慈照寺（銀閣寺）左京区銀閣寺町

花崗岩の切石を組み合わせた導水施設。石には2本の溝がある（西から）。



7 松ヶ崎廣寺 左京区松ヶ崎福町（松ヶ崎小学校）

松ヶ崎林山のみもとで天文法華の乱（1536）によって焼失した妙泉寺の石垣を発見した（南東から）。



調査地点